

身近な鳥から絶滅寸前の鳥まで！

見た目・生態・ワザ…私たちが知らない **クセすご** な鳥が大集合！

『クセがすごすぎる 世界の鳥図鑑』7/12発売

海鳥の血を吸う!? よだれかけを見せつける!? 想像を超えた鳥67種+aを掲載



あなたの知らない本当の鳥の姿を紹介！『クセがすごすぎる 世界の鳥図鑑』を、2024年7月12日（金）に発売します。

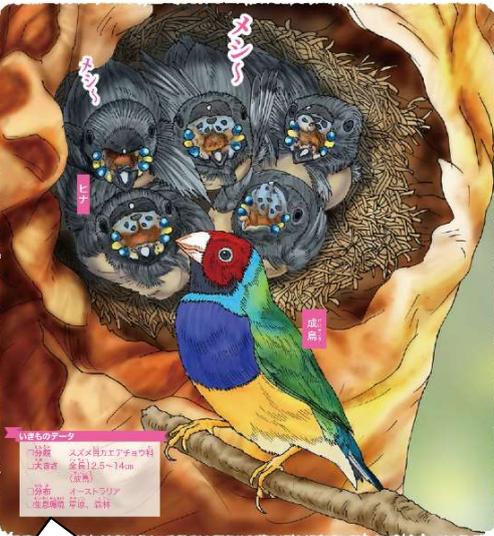
いきものの中でも、それぞれが幅広い特徴を多くもつのが鳥。本書には、見た目・生態・得意ワザ・求愛・巣作りのカテゴリ別に、世界中の「クセがすごすぎる」鳥たち67種+aが登場します。目立つために体中の羽をギラギラと輝かせたり、時速300kmのスピードで急降下して獲物を捕らえたり、6000mの山を越えて移動したり…世界各国にいるトンデモ鳥たちの、クセがすごすぎる理由や生態を、鮮やかなイラストとともに解説。鳥の特性コラムも掲載しているので、子どもの夏休みの自由研究にもピッタリです。

監修は、動物学者として有名な今泉忠明氏、イラストレーターは『ずるい いきもの図鑑』の森松輝夫氏。驚きのなかにもクスッと笑える鳥たちを通して、命の大切さや生きることの大変さも学べる一冊です。

『クセがすごすぎる 世界の鳥図鑑』 発売日：2024年7月12日 / 定価：1210円（税込）
監修：今泉忠明 / イラスト：森松輝夫

すごいクセには理由がある…！ 鮮やかなイラスト&解説で学べる

目を引く鮮やかなイラストが楽しい！



いよものデータ
分類 ミズメドリ科
大きさ 全長12.5~14cm
分布 東南アジア
生態 繁殖、子育て

分類・大きさなど
いよものデータも

口周りに青いビーズ。そして甲高い声
ちょっと視聴注意なコキンチョウのヒナ

コキンチョウは美しくさわやかな色の鳥です。胸、腹、顔に、それぞれ青、黄、緑、赤が美しく配られ、口周りの水色もさわやか。それに比べると少々グロテスクなのがヒナ。ヒナは口周りに青く光るビーズのようものがついていますが、鳴き声も黒板を爪でひっかいたように視聴に注意して感じます。

ではなぜヒナのようなものがついてくるのでしょうか、それは排卵止のためという説があります。排卵とは勝手に他の種類の鳥の巣に卵を産んで、その鳥に育ててもらおう子育て方法です。これを防ぐのに役立つのが口周りのビーズ、これを意識的につけたとしたらかなりの知恵です。

すごいクセには理由がある！
徹底解説

第1章

見た目がクセありすぎ！な鳥たち

第2章

びっくりな生態がクセ出しすぎな鳥たち

第3章

クセ強すぎな得意ワザを持つ鳥たち

第4章

求愛のクセがとんでもない鳥たち

第5章

とてつもないクセのある巣作りをする鳥たち

次ページでは「クセがすごすぎる」
鳥たちを一部紹介！

■思わず見入ってしまう!? 「クセがすごすぎる」鳥たちを一部紹介

**見た目のクセが
すごすぎ**

口周りがグロテスクすぎる!
コキンチョウのヒナ



美しい成鳥と比べ、口周りに青く光るビーズのようなものがついていて、少々グロテスクなヒナ。黒板を爪でひっかいたような鳴き声もクセが強い!

鳴き声もクセあるぞー



●スズメ目カエデチョウ科 / オーストラリアに分布

**クセ強すぎな
得意ワザを持つ**

ドングリのためこみ方が
エグイ!

ドングリキツツキ



木の幹にたくさんの穴を開け、獲ってきたドングリを大量に詰めこむ。他の動物に獲られないように穴に隠しているつもりだが、実は丸見えなので、簡単に獲られてしまう…。

穴に詰めとけば
見つからないさ♪

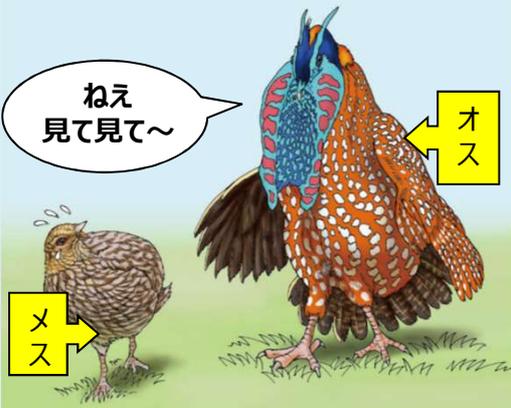
●キツツキ目キツツキ科 / 北アメリカ西部～中央アメリカに分布

**求愛のクセが
強すぎ**

よだれかけを
見せつける!?
ベニジュケイ

求愛するメスに、赤と青の奇妙なよだれかけにも見える“肉垂れ”を見せつけて追いかける。

ねえ
見て見て～



●キジ目キジ科 / 中国・チベット・インドなどに分布

生態がクセ出しすぎ

海鳥の血を吸う吸血鳥!

ハシボソガラパゴスフィンチ

食べ物が無いとき、尖ったくちばしで海鳥を突いて、出血した血を吸う。
(それで死ぬことは滅多にないので、海鳥は気にしていない様子)

ちよいと
血を拝借



●スズメ目フウキンチョウ科 / ガラパゴス諸島に分布

クセ強めな巣作り

生物が生きられない湖に巣を作る
コフラミンゴ

ヒナが狙われないよう、強いアルカリ性の湖に巣を作る。成鳥の長い脚はアルカリ性に耐えられるが、ヒナは落ちたら死んでしまうので、毎日命がけで暮らしている。

(それでも落ちささしなれば生きのびる確率は高い)

落ちたら
死ぬからな



●フラミンゴ目フラミンゴ科 / アフリカ、インドの一部に分布

■楽しく学べて、いきもの博士になれる! 宝島社の「いきもの図鑑」

